

山手留守家庭児童育成室運営業務委託事業者評価シート（令和6年度）

1 育成室の概要

（1）児童数・教室数（令和7年3月1日時点）

児童数 154人（うち配慮を要する児童5人）						教室数
内訳	1年	2年	3年	4年	5・6年	4教室
	39人	54人	43人	18人	0人	

（2）受託事業者

株式会社セリオ（契約期間：令和5年4月～令和10年3月）

他に受託している育成室（佐井寺育成室、東佐井寺育成室、豊二育成室）

2 運営状況に対する評価

	評価項目・視点	評価点（0～3）
1	児童との関わりについて ・指導員と児童との関係づくり、信頼関係構築など	3
2	保育内容について ・集団遊び等による自主性や社会性を培う取組など	3
3	運営体制について ・指導員の配置、知識・経験など	3
4	育成室環境について ・生活空間の確保、衛生環境など	2
5	おやつの提供について ・栄養バランスの配慮やアレルギー対応など	2
6	学習活動について ・宿題等の取組のためのスペース確保など	3
7	保護者・学校との連携について ・保護者や教職員との情報交換など	3
8	配慮を要する児童（障がいを有する児童）の保育について ・児童の発達段階に応じた適切な人員配置など	2

3 総合評価（所見）

- ①全体として、仕様書の内容を高い水準で履行し、事業目的を踏まえた保育や運営が良好に行われており、児童の健全育成に大きく貢献している。
- ②保護者アンケートの「育成室を安心して利用することができている」、「保護者との連携、保護者への情報提供の頻度・内容について（連絡帳、おたより、学級懇談会など）」の設問では、肯定的な回答がいずれも96%以上であり非常に高い割合である。
- ③児童の主体性や協調性を伸ばすために、児童自ら率先して行動ができるよう、日頃から児童同士が意見交換ができる環境を設定している。また、夏休み期間中の一日保育時には、けん玉講師を外部から招いての技の指導や検定の実施、全学年での遠足などの独自取組も行っている。